

けんすけタイムズ
Rensuke TimesLINE
公式アカウント愛知 13 区
安城・刈谷・碧南・知立・高浜

タイトル

抜け道だらけの政治資金規正法改正

衆議院議員

おおにし健介

抜け道だらけの政治資金規正法改正



政治改革法案が衆議院で可決されました。衆議院の出口では、一旦、合意した総理入り質疑と採決を与党が取り下げるといった場面がありましたが、その迷走ぶりが与党案のたらいまわしを象徴していると思います。

法律案は可決されましたが、法改正議論のきっかけとなった裏金問題については、未だ全貌が明らかになっていません。実態を明らかにした上で、再発防止策を議論するのが本来の筋です。

我々は、次の理由から反対しました。第一に、与党案は、企業・団体献金については、全く触れていません。30年前、民間政治臨調の亀井会長は「企業献金はそれ自体が利益誘導的な性格を持つ」と述べました。94年のリクルート事件を受けて、政党助成金を導入した際、国民の皆様にご負担をお願いする代わりに、業界との癒着の温床となる企業・団体献金は全面禁止する約束だったのに、その約束は反故にされ、いまだに政党支部経由の献金がまかり通っています。

第二に、政策活動費については、土壇場で、維新の要求をいれ修正が行われましたが、これでは10年は「領収書の要らない金」を認めることになり、虚偽記載罪も所得税法違反も公訴時効は5年であるため、10年後に公開されても罪に問われない上に、領収書の黒塗りが認められる可能性もあります。さらに、年間上限や第三者機関の設置の検討も具体的な期限は何も決まっておらず、本当に実行するのかさえ疑問です。

第三に、野党が一致して要求した「連座制」についても、自民党案の確認書方式では、「確認したが気づかなかった」という言い逃れを許すこととなり、これまで同様、秘書に罪を被せて議員本人は、罪を問われないということが続く可能性があります。

大山鳴動して鼠一匹とは、まさにこのことです。抜け道だらけのやったふりの政治資金規正法改正では、これまでと何も変わらず、国会での議論で指摘された問題は何も解決しません。

そもそも今回の法改正議論が起こったのは、裏金問題が発端であることを自民党は自覚してないのではないのでしょうか。リクルート事件の時と違い、自民党内で改革の声をあげる若手はおらず、もはや自民党の自浄能力に期待することはできません。「汚れた雑巾で拭いても汚れはきれいにはならない」以上、本気の政治改革には政権交代が必要です。



【衆議院議員 おおにし健介事務所・立憲民主党愛知県第13区総支部】

〒446-0074 愛知県安城市井杭山町高見 8-7 2F TEL: 0566-70-7122 FAX: 0566-74-2008 メール office@oniken-web.jp

地元の課題を国会で



選挙区の具体的な事業に関わる質問を法案審議の中ですることはなかなかできませんが、予算や決算の分科会質疑の機会等を捉えて、私は地元の課題についても積極的に国会で質問しています。その一部をご紹介します。

○予算委第四分科会（2024.2.18）

- ・「アジア競技大会の成功に向けて、この（安城市総合運動公園の）ソフトボール場の観客席の増設について財政的な支援を含めて御支援をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。」
- ・「本證寺境内の発掘調査、石垣や築地塀の修理、復旧、また、聖徳太子絵伝の修理のための補助金について十分な予算の確保をお願いしたいと思いますが、」
- ・「（外国人児童の教育について）知立市における杜若教室のような先進事例を参考に、早期適応教室というのを制度化して手厚い財政支援を行うべきだと思いますが、大臣、いかがでしょうか。」
- ・「電気代を始めとする光熱水費の高騰、これは大学など教育機関にとっても大きな負担になっています。（愛教大の）光熱水費高騰への追加の支援をお願いをしたいと思いますが、大臣、いかがでしょうか。」



○決算行政監視第四分科会（2024.5.13）

- ・「政府は、CNP（カーボンニュートラルポート）形成を推進するに当たって、広く薄く支援するんじゃなくて、まず、この衣浦港のような港を、これをモデル港にして集中的な整備をして、それをショーケースにすべきではないかというふうに考えますが、大臣、いかがでしょうか。」
- ・「衣浦港も、ちょうど半島の先っぽの方にありまして、BCPの対策を考える上で、南海トラフ地震に備えて、緊急輸送道路に指定されている国道二百四十七号、それから港南一号線の路線の強化や再点検、これが私は必要だというふうに思っておりますけれども、いかがでしょうか。」
- ・「（破碎瓦）シャモットは、路盤、路床材であったりとか裏込め材などとして公共事業でも活用されていますけれども、もっと積極的に活用していただきたいと思いますが、大臣、いかがでしょうか。」
- ・「瓦業界や産地は、大きな地震のたびに（瓦屋根は重いので地震に弱いという）こうした風評被害に苦しめられています。国交省としても風評被害対策をお願いできませんでしょうか。大臣、いかがでしょうか。」
- ・「矢作川の支川である鹿乗川や西鹿乗川合流地点までの河川改修の早期実現に向けても国の支援をお願いしたいというふうに思いますが、いかがでしょうか。」



Profile



- ▶昭和46年4月13日生まれ ▶京都大学 法学部卒
- ▶党務では、選対委員長、青年局長などを経て、現在は政務調査会会長代理（筆頭代理）次の内閣 NC ネクスト内閣官房副長官
- ▶国会では、予算委員会、厚生労働委員会、情報監査審査会
- ▶小学生、中学生2人の男の子のパパ。ニックネームは「オニケン」
- ▶国会職員、在アメリカ大使館二等書記官、衆議院議員 馬淵澄夫政策担当秘書を経て、平成21年第45回衆議院議員総選挙で初当選。以来、連続5期当選。